

牡鹿半島荻浜湾流域環境再生プロジェクト

活動地域  宮城県

つづける助成

3年目

実践

ポット苗作成 **約300個**

直植え苗 **24個**

今年度計画の達成度 **60%**

目標達成度 **70%**

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、エコツアーの実施を中止としたため、啓蒙活動が思うように進まなかった。

■ 工夫した点

昨年度実生を採取し保護する育成の仕方が比較的うまくいったので、ウリハダカエデだけでなく他の種も採取し苗木の種類を増やせるようにした。



専門家による植生調査（防鹿柵内）

課題

荻浜湾流域の人工林の多くは放置林の上、近年ニホンジカの獣害が原因となり、地被植物や中層を構成する広葉樹が自生できない環境となり、土砂崩れ等の実害が出ている。

目標

複層混交林として再生し、生物多様性環境が創出されるよう、鹿柵内外における植生サイクルを把握し、潜在的な植生を把握する。また地権者の山林保護への意識が向上する。

活動内容と成果

- 防鹿柵において6回の定点観察調査を実施した
- 専門家による植生調査を行い継続的な植生の把握を行っている。また、土壌生物調査を実施し、今後の生物多様性創出のための現況を把握することができた
- 苗を約300ポット作成し、昨年度同様挿し木や取り木という育成方法にも挑戦し、実生を保護し、育てる方法にも取り組んだ。また、過去に育てていた苗木（24本）を整備した苗床に直植えした
- 活動報告書を作成した



ポット苗木



直植えしたウリハダカエデの苗

全助成期間の活動を振り返って

この3年間で専門家による継続的な植生調査及び土壌調査等を行うことができ、活動場所の特性を知ることができた。また、地域の方々にも活動を知ってもらうためのパンフレットや広報誌の作成、エコツアーの実施等による啓蒙活動を継続的に行ってきたため、石巻市との連携を図る動きが可能になってきた。

〒986-2341
宮城県石巻市荻浜湾横山12-2
電話：0225-98-9172
E-mail：office@oshikalink.jp
HP：https://www.facebook.com/oshikalink/



今後の展望

今年度は石巻市が所有する沿岸部の低平地を借りることができ、苗床を整備することができたため、植樹用の苗木を育てる十分な土地を確保できた。今後はまだ整備が完了していない場所を整備し、苗木の育成を進めていきたい。